

UNHCR は、持続可能な開発目標（SDGs）が掲げる“誰一人取り残さない”世界の実現のために、難民や国内避難民、無国籍の人々が取り残されることのない開発計画を重視しています。

SDGs の 17 の目標を踏まえ、プロジェクトの策定や実行、データ収集やアドボカシー活動を行い、国際社会に対しても、SDGs 達成への貢献につながる取り組みを共に実施できるよう、働きかけを行っています。



持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）とは

2015年9月、国連全加盟国の全会一致により、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。その中で、人間、地球、繁栄のための行動計画として掲げた目標が、「持続可能な開発目標（SDGs）」の17の目標と169のターゲットです。

SDGsは、ミレニアム開発目標（MDGs）の成果をさらに一歩進め、経済的に豊かな国もそうでない国も、すべての国が豊かさを追求しながら、共に地球を守っていくことを呼びかけています。

また、貧困撲滅に向けて、経済成長を促し、教育、健康、社会的保護、雇用機会など幅広い社会的ニーズに応えながら、気候変動と環境保護に取り組む戦略が必要であることを確認しています。

# UNHCRは難民保護・支援活動を通して、SDGsの達成に貢献しています

## 次の12の目標は、UNHCRの活動に特に深く関係しています



### 2030年までに、あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

貧困をはじめとした脆弱な状態にあるすべての人々の基本的サービスへのアクセスと経済的資源への同等の権利の確保:



難民の生計向上と自立支援のため、職業訓練やスキルトレーニングプログラムを実施。難民キャンプや受け入れ地域における雇用機会の拡大、難民の尊厳の維持を目指しています。



### 飢餓を終わらせ、食糧安全保障と栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

乳児をはじめとしたすべての人が一年を通して、安全で栄養のある食糧を十分得られること:



世界のどこの避難先においても、安全な水と食糧が得られる環境づくりを重視しています。また、栄養不良や疾病への対応として、早期検診や安全な水と衛生の確保を行っています。



### あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

2030年までに世界中の妊産婦の死亡率低下(10万人中70人未満へ)、すべての女性がヘルスケアを受けられること、対策が不十分な熱帯病(HIV/エイズ、結核、マラリアなど)の根絶:



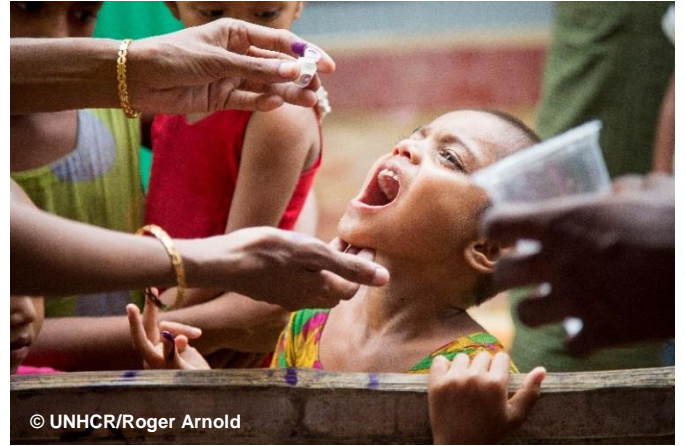
難民の女性と子どもへの産後ケア、難民キャンプで働く難民の助産婦へのトレーニングを提供しています。マラリア、下痢、呼吸器感染、結核、HIVは、避難先での難民の主な死因であることから、保健医療サービスやレトロウイルス性疾患の治療、予防接種、感染防止に関する情報提供、HIV感染やマラリアなどの疾病への注意喚起を行っています。



© UNHCR/Antwan Chnkj



人生で初めて学校に通い始めたアレッポの少女。シリアの子どもの多くが内戦の影響で教育の機会を奪われている



© UNHCR/Roger Arnold



バングラデシュのバルカリ難民キャンプでコレラ予防のワクチン接種を受ける子ども



### すべての人々へ包摂的かつ公正で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、自由かつ公平で質の高い初等教育と中等教育を修了できること。また技術的・職業的スキルなど、雇用や起業に必要な技能を備えた若者と成人の大幅な増加:



難民への教育機会の提供を優先課題とし、初等教育を受けるためのサポートを厚くするためのプログラムや、雇用機会の拡大と生活改善を目指した職業訓練、スキルトレーニングプログラムを提供しています。



### ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメントを行う

すべての人が尊厳を持って生き、重要な決断を自分自身で行えるような公平な機会に焦点をあて、ジェンダー平等の促進、人身売買や性的搾取を含めた、女性と女児に対するあらゆる形の暴力の排除:



脆弱性が高い難民の女性や女児に対する5つの責任として、(1)保健医療サービスの提供、(2)安全な水と燃料へのアクセス、(3)レイプや性犯罪、DVの被害者、性とジェンダーに基づく暴力抑止へのサポート、(4)難民登録、必要な権利に平等にアクセスするためのサポート、(5)意思決定や自立のためのプログラムを掲げています。



### すべての人々の水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

2030年までにすべての人々が、安全で安価な飲料水へいつでも平等にアクセスできること:

避難先での安全な水の入手は困難で、奪い合うほど貴重なものです。特に難民は劣悪な衛生環境から感染症にかかりやすく、飲み水の汚染により急な死に至ることもあります。



コレラなどの感染症の防止、健康維持のため、安全な水と衛生環境の確保に向けて、水・衛生キットの配布、トイレの設置や健康促進活動など、さまざまな対策を講じています。



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



## すべての人々の、安価で信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

2030年までに、先進的エネルギーサービスへのすべての人のアクセスの実現と、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合の拡大：



難民の大量流入による人口増大の環境負荷は甚大です。環境問題の持続的解決を目指し、代替燃料や太陽光発電の導入、川や湖、池を利用した水資源の維持、汚染防止や排泄物管理のための衛生的なトイレの維持などに取り組んでいます。

8 働きがいも  
経済成長も



## 包摂的で持続可能な経済成長及びすべての人の完全かつ生産的で働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を推進する

生産活動や適切な雇用創出、起業、中小企業の設立や成長を支援する開発重視型の政策：



難民のスキル習得や雇用創出のサポート、また、翻訳や事務処理、データ処理、ウェブデザイン業務など、国や地域を越えて遠隔地でも働くことができるテレワークのアクセス拡大に取り組んでいます。

10 人や国の不平等  
をなくそう



## 国内および国家間の不平等を是正する

2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、経済的地位などにかかわらず、社会的、経済的、政治的な側面から平等な環境を実現していくこと：



差別は人権と尊厳の侵害であり、難民を発生させる紛争や迫害の原因にもなります。できる限り難民の利益を確保し、また、暴力や迫害の危険にさらされている人々が平等な環境を享受できるように、各国政府と対話を図っています。



© UNHCR/Roger Arnold

10 人や国の不平等  
をなくそう

ケニア政府が認定した少数民族マコンデ族の女性に、国籍が与えられた。身分証を見せ、「人生が変わった」

11 住み続けられる  
まちづくりを



## 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

すべての人が安全で不足のない、手ごろな住居および基本的サービスへアクセスできること：



すべての難民が安全に尊厳を持って、持続可能な形で暮らせるよう、自然の脅威や疾病、伝染病から人々の命と健康を守り、安全な避難場所を確保することが必要不可欠です。

UNHCR の保護下にある難民には避難所、帰還民には生活再建に必要な現金支給やシェルターキットが支給されます。また元々住んでいた家が占拠されている場合には、必要に応じて法的支援が提供されます。

16 平和と公正を  
すべての人に



## 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

あらゆる形態の暴力と暴力に関係する死亡率を減らし、すべての人の法的地位を保障すること：



国籍がないために、どの国からも保護や権利を受けられない無国籍者への支援を行っています。

無国籍者は、保健医療サービスの受給やパスポートの所有が認められず、学校に通えないことさえあります。UNHCR は、世界各国の政府に働きかけ、無国籍者の特定や発生防止・削減、保護の促進を後押ししています。

17 パートナリシップで  
目標を達成しよう



## 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

多様なステークホルダーとの結束の強化を図り、相互に強く関連している SDGs の達成に向けて取り組みを促進する：



難民保護・支援は、UNHCR だけで対応できる問題ではありません。持続的な解決策を追求するため、政府、政府間組織、NGO、国連機関、地域コミュニティ、大学、司法、民間セクターと緊密に連携し、世界各地で活動を展開しています。

「SDGs は、子ども、若者、障害をもつ人、HIV/エイズ感染者、高齢者、先住民、難民、国内避難民、移民を含めたすべての人のニーズが反映されています。私たちは困難や阻害要因を取り払い、複雑な人道危機やテロの影響を受けている地域に暮らす人々の特別なニーズへの対応力を高めるため、国際法に則った形で、より一層効果的な対策と行動を取ることを決議します」（「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」23 段落）

# 誰一人取り残さないために – UNHCR の支援例



## ふるさとを離れても、心身ともに健康な毎日を

ある日突然、着の身着のまま、住み慣れた場所から逃れなければならなかったとしたら—。心身ともに疲弊してたどり着いた先で日々を生き抜いていくためには、医療へのアクセスが重要なカギのひとつです。

UNHCR の公衆衛生に関するレポート（2017 年）によると、世界で移動を強いられた人のうち、避難先で診察を受けることができた人は、21 力国で前年比 10% 増加、80 万人を超えました。

紛争や迫害による避難という緊急事態において、最も懸念されるのが 5 歳未満の死亡率。2011 年以降、UNHCR やパートナー団体による支援強化のききもあり、その割合は減少傾向にあります。いまだに毎月 1000 人中 0.4 人が命を落としています。

また、ふるさとから避難してきた人々への精神的なケアも大切です。UNHCR は War Trauma Foundation と連携し、アジアとアフリカで、メンタルヘルスケアに携わる医療関係者への研修を実施。2017 年は 3 年前の 2 倍のコンサルテーションが行われ、精神的な負担からくる急な発作や精神病、躁鬱などの相談に応じています。

今回調査対象となった 21 の地域、135 カ所では、50 万人（前年比 18% 増）の妊婦が出生前検診を受け、10 人中 9 人（同 25% 増）がスキルのある助産師の立ちあいのもと出産しました。1 日に 1 人平均 21 リットルの水を確保できるよう、水資源を管理し、衛生環境改善のためトイレの数も増やす取り組みも進めています。難民問題が拡大、複雑化し、公衆衛生に関するニーズが増え続けるなか、緊急時や避難が長期間にわたる状況において、常にこの基準を満たすことは困難で、UNHCR の今後の課題となっています。



© UNHCR/Petterik Wiggers

## 8 働きがいも経済成長も 避難に使ったボートをリサイクル～難民に希望を与える仕事を

パキスタン人のアビッド（35）は腕の優れたデザイナー。身の危険を感じてトルコに逃れ、2015年にギリシャのレスボス島に避難。「頼りないゴムボートに50人近くが乗り、今にも沈みそうでした」と当時を振り返ります。

現在はドイツで庇護申請をしながら、再びデザイナーとして活躍しています。作っているのは、彼自身が乗っていたボートを再利用したカバンです。ギリシャのヒオス島で難民支援のボランティアをしていたノラとベラが、島のビーチを掃除していた時、避難に使ったボートが大量に放置されているのを見て、難民を雇用し、ボートを再利用するビジネスを思いついたのです。

2人はドイツに戻りNPOを立ち上げ、腕のいい職人を募集している時に、アビッドに出会いました。「アビッドは縫製の達人。私たちのチームに欠かせない存在です」とノラは話します。アビッドも自分の得意分野で仕事を得て、生き生きと働いています。その一方で、アビッドにとってボートは、避難した時の記憶を思い出させるものでもあります。しかし、「そんな物語を持つボートを何か別のものに変えることは感動的で、また難民たちをカブけます。とても責任のある仕事です」とベラは話します。

ノラとベラが目指しているのは、ドイツに逃れてきた難民たちの社会統合の拡大。今後も難民たちへの理解を広め、新たな地で自立して生活できるよう、雇用機会を提供していきたいと考えています。



© UNHCR/Gordon Welters

参考資料 UNHCR and the 2030 Agenda – Sustainable Development Goals <http://www.refworld.org/docid/59db4b224.html>  
Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development <https://sustainabledevelopment.un.org/post2015/transformingourworld>  
持続可能な開発のための 2030 アジェンダ採択 – 持続可能な開発目標ファクトシート <http://www.un.org/news/press/features/backgrounders/15775/>  
SDGc Compass SDGs の企業行動指針 [https://sdgcompass.org/wp-content/uploads/2016/04/SDG\\_Compass\\_Japanese.pdf](https://sdgcompass.org/wp-content/uploads/2016/04/SDG_Compass_Japanese.pdf)

UNHCR の SDGs への取り組みについては、UNHCR 本部のウェブで、より詳しく紹介しています。  
<http://www.unhcr.org/2030-agenda-for-sustainable-development.html?que> (英文)